

件 名	(仮称) 百舌鳥古墳群ガイダンス施設計画の見直しについて
経 過 ・ 現 状 政 策 課 題	[経過] 平成27年9月 基本計画を策定 平成28年3月 建設工事基本設計に着手(～H28.11) 平成28年4月 展示設計に着手(～H30.3) 平成28年12月 建設工事实施設計に着手(～H29.12) 平成30年1月 世界遺産登録推薦書をユネスコに提出 平成30年2月 着工時期を延期(H30.4⇒イコモス勧告後) 令和元年5月 イコモス勧告 令和元年7月 世界遺産登録 ※付帯的勧告「遺産影響評価について、より検討を深めること」
対 応 方 針 今 後 の 取 組 (案)	[対応方針及び今後の取組(案)] 既存施設の有効活用や民間の活用という視点で再検討した結果、百舌鳥古墳群のゲート機能として、観光案内所等が入っている大仙公園レストハウスを活用することとし、パネル展示や映像などで百舌鳥・古市古墳群の概要を理解していただくとともに、より深く理解したいという来訪者に対しては堺市博物館の展示内容等を充実させることで対応していく。 また、眺望については、より高い視点での眺望が得られるガス気球を設置することで、古墳群の雄大さを体感していただけるようにする。
効 果 の 想 定	・ 既存施設を有効活用することにより、建設費及び運営費が大幅に減額されるとともに、初めて訪れる人にも百舌鳥・古市古墳群の価値を理解していただける。 ・ 堺市博物館の展示を充実することで、より深く理解したいと考える来訪者の満足度を高めることができる。
関 係 局 と の 政 策 連 携	